

前回12月3日（金）に発生した、紀伊水道M5.4の地震は 関西が広く揺れましたが、前兆現象として和歌山一Aの約1年間に渡る長期データの収束が、この地震の予兆をよく捉えていました。その地震発生後、和歌山一Aのデータは少し上昇傾向を見せたものの、すぐに横ばいになり、12月18日ごろになって再度急な減衰→収束傾向になっています。

以下には今回、12月20日までの和歌山一Aの再収束の状況を載せます。前回12月3日の紀伊水道M5.4の地震でエネルギーを発散してしまった、とも考えられますが、和歌山一Aのデータが約1年間も続いていたことからM5.4では小さすぎる、という考えもあります。その場合は前回よりも、さらに大きなM6クラスの大地震が関西を襲う、という可能性も残ります。周囲には 三重志摩の大きく多数の1本立ちも結果が出ておらず、伊勢D484、浜北355なども大きなデータもあります。また昨日が満月でトリガーにかかっています。そこで再度、関西地区にM6クラスの大地震の可能性について警戒したいと思いますのでご注意ください。

<地震予想>

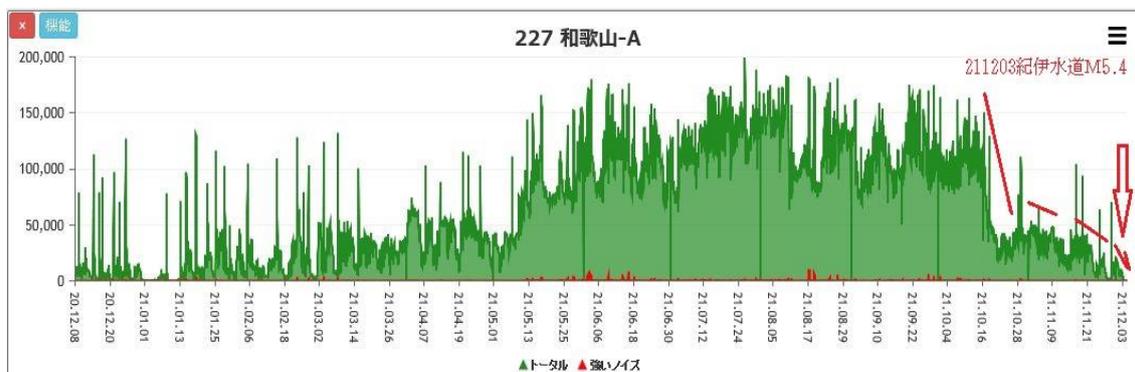
震源域>関西地区（紀伊水道）、

規模>M6クラス、

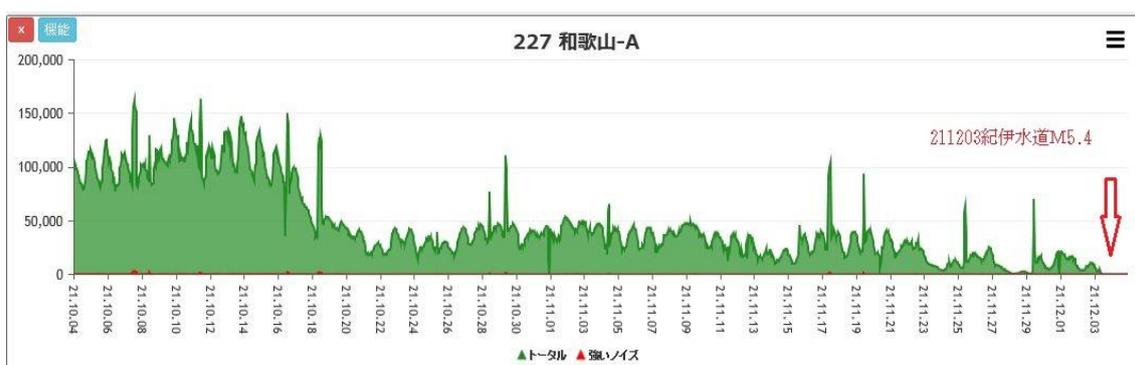
発震日>本日12月20日より3日間

<前回12月3日紀伊水道M5.4の前兆の和歌山一Aの収束状況>

12月3日和歌山一A 360日データ収束



12月3日和歌山一A 90日データ収束



前回：地震発生：12月3日紀伊水道M5.4



発生時刻	2021年12月3日 9時28分ごろ
震源地	紀伊水道
最大震度	5弱
マグニチュード	5.4
深さ	20km

<今回 12月20日までの和歌山-Aの再収束の状況について>

12月20日 和歌山-A 360日間データ



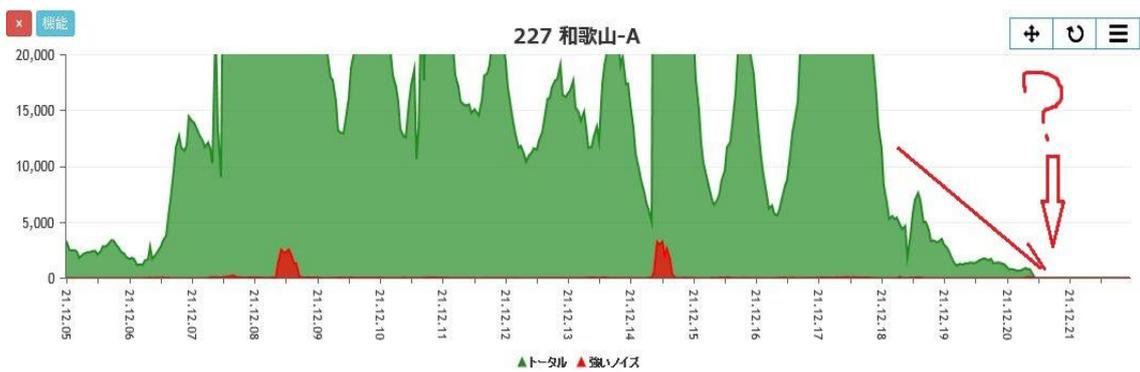
12月20日 和歌山-A 60日間データ



12月20日 和歌山一A 30日間データ



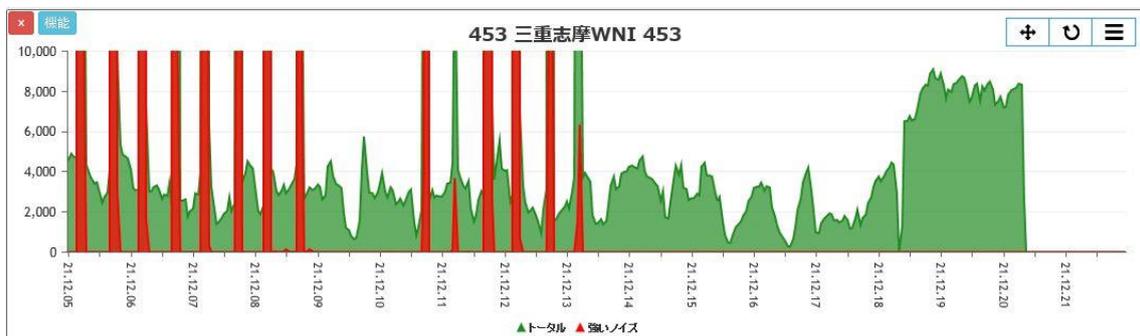
12月20日 和歌山一A 15日間データ



三重志摩 90日間データ



三重志摩 15日間データ



浜北 355 30日間データ



伊勢D484 60日間データ



豊橋 345 30日間データ

